

ハンドボール

No. 2/

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	Jリーグ大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	地区大会

<input type="checkbox"/>	成年男子
<input type="checkbox"/>	成年女子
<input type="checkbox"/>	少年男子
<input type="checkbox"/>	少年女子

試合 番号	ケ
----------	---

年月日	2018 年 9 月 14 日 (金)
大会名	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018

公式記録用紙

A						群馬県						富山県						B	
都道府県 福井県		市町村 永平寺町				会場 北陸電力福井体育館ﾌﾟﾗBｺｰﾄ				回戦 2回戦									
前半	A	B	最終 結果	A	B	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mTC	A	B					
	9	13		22	31														
7mT 得点/総数	A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7mT 得点/総数								
	3/3	1	2	後	3	1	2	後	3	1/2									
			24:40	16:48					14:14	12:33									

No.	群馬県	G	W	2'	2"	D	DR	No.	富山県	G	W	2'	2"	D	DR
1	小菅 由貴							1	安田 絢恵						
2	今井 淑乃	1	1					2	園田 麻乃						
3	田村 麻衣							3	牛山 悠衣	1					
4	武藤 夢歌	1						4	鈴木 愛梨	2					
5	金庭 亜季	2						5	遠藤 優	2	1	1			
6	久保 涼子	5						6	石嶋 亮子						
7	石井 楓	2						7	佐藤 一実	9					
8	矢野 ありさ	4						8	水野 元子						
9	勅使河原 美祈							9	横嶋 遥	3	1				
10	安田 みゆう	1						10	高木 裕美子	6					
11	小菅 亜実	6						11	望月 さやか	8		1			
12	金井 友希							12	唐木澤 模央						
役員A	小林 喜代子							役員A	大森 聡						
役員B	碓井 千尋							役員B	金 基成						
役員C	小菅 由貴							役員C	墨谷 沙紀						
役員D	齋藤 梨奈							役員D	柳 美貞						

A	チーム役員A署名	B
特記事項		

レフェリー	國澤 隆	江田 優紀		
TD	行田 潤	大平 忠一		
JHAオフィシャル				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール

N. 20

第73回国民体育大会 平成30年度「福井しあわせ元気」国体

試合結果・戦評報告書

競技日	H30.9/ 13日(木)・14(金)・15(土)・16(日)・17(月)			試合番号	D-ケ
会場 コート	A	福井県営体育館	種別	成年	少年
	B	福井市体育館	性別	男子	女子
	C	北陸電力福井体育館フレアAコート	回戦	一回戦	二回戦
	D	北陸電力福井体育館フレアBコート		準々決勝	準決勝
	E	永平寺緑の村ふれあいセンター		3位決定戦	決勝
Aチーム名			Bチーム名		
群馬県			富山県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
22	9	前半	13	31	
	13	後半	18		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

大会2日目、群馬・富山ともに実力が拮抗し白熱した戦いが予想される一戦。先制は開始から1分半と遅く、富山⑩高木が得点。対する群馬は①小菅が連続得点し逆転。富山①安田の好セーブと群馬の堅守で、両者得点が伸びないロースコアの様相をみせる。5分経過時点で群馬2-1のリード、10分では富山が5-2とリードするも、15分に富山6-5とリードを縮められ、20分でも富山9-8。一進一退の攻防で、非常に緊迫・拮抗した展開内容。前半終了時点、すこしスコアが広がり富山13-9のリードで折り返す。後半序盤はセットから群馬④武藤が得点するも、その後は富山が徐々に得点を重ねていき、リードを最大5点に広げる。その間の群馬はシュートを放つも決めきれない場面が多く、富山のカウンターが決まる苦しい展開。しかし、群馬①小菅の好セーブを中心として必死のDF対応で、なかなか富山にゴールを割らせない状況が連続すると、後半12分すぎに遂に1点差まで迫る。ここで富山がタイムアウト。群馬優勢の流れが切れ、プレー再開後は富山が得点を重ねる場面が増え、再びリードが広がり始める。その後ゲームはリードを広げた富山が勢いに乗り、速攻を絡めたOFで、粘る群馬を引き離し31-22で勝利を取めた。

記載者氏名

渡辺智典

送信日時

月 日 () :

送信者署名